



こんな姿を
めざしたい!!

学習を振り返り、次の課題を見いだそうとする

問題の概要

江戸時代の諸改革に関する文章について、田沼意次の行った内容を選択する問題。

特徴的な傾向

- ・用語短答問題は高い正答率
- ・用語説明問題は低い正答率
- ・文章や資料の読み取りに基づく正誤問題は低い正答率

誤答から見える
生徒のつまずき!

ここがつまずき!

- ・用語そのものを「覚えよう」としている。
- ・問われていることと既有知識を結び付けることができない。
- ※用語を覚えることが目的になっていませんか?
- ※考えたり表現したりする中で理解が深まっていますか?
- ※吟味した「発問」が実践に位置付けられていますか?



歴史的分野の学習で

日々の学習における改善・充実

～単元の課題設定場面の一例～

社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、幕府の政治の展開について近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現し、**幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解**できるようにする。

【授業デザイン例】

≪第1次≫江戸時代の百姓一揆、打ちこわしの発生件数のグラフの提示

【学習問題】

なぜ、江戸時代後半に百姓一揆、打ちこわしが急に増えたり減ったりしているのだろうか?

- ≪第2次≫ 享保の改革
- ≪第3次≫ 田沼の政治と寛政の改革
- ≪第4次≫ 天保の改革
- ≪第5次≫ 化政文化

こんな
問いかけ
してませんか?

目的意識につながる**問題解決的な展開**や、**適切な振り返り**にしていくためには、単元等のまとまりを見通した**授業デザイン**が必要です。最低限の**理解項目を明確**にし、単元レベルと1時間レベルのそれぞれでデザインしていく必要があります。

T:グラフから、江戸時代の百姓一揆や打ちこわしが多く発生しているのはいつですか?

資料を読み取る活動の効果的な設定のための「発問」の吟味

S:江戸時代後半の方に多く発生しています。

T:よく比較できています。では、発生している時期に共通点はありそうですか?

S:「ききん」があった時に多く発生しているようです。

T:よいところに気が付きましたね。ただ、理由はそれだけでしょうか?また、減少した時期には共通点はありそうですか?

S:他にも増加した理由はありそうだな。

生徒の思考が動き出すような「発問」の吟味

S:減少したということは、誰かが何かしたのかな…。

「発問」を吟味してみましょう!

その発問について考えることが、単元や1時間でめざす理解に効果的につながるかという視点から、発問について吟味してみることが大切です。

授業改善の
POINT

発問について考えることで理解する実践を!

～単元等のまとまりを見通した授業デザイン～

